

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社ポプラサポート	代表者	大谷 有紀	法人・事業所の特徴	平成13年より上三川町で通所介護事業所を開始。平成27年より町内で初めての小規模多機能型の事業所を開設し、現在さくら市と合わせて7事業所を運営しています。「ともに生きる」という理念のもと、「通い」「訪問」「泊まり」を柔軟に組み合わせた支援を行っています。
事業所名	小規模多機能型ぽぷら	管理者	佐々木 宏美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			意味がよくわからないとの事で未記入の方がいましたので、説明後再度チェックしていただきました。	職員の内部研修や外部研修に力を注ぎ、ケアの質を向上するとともに職員が意見を言いやすい職場環境作りに努めたい。
B. 事業所のしつらえ・環境			ナビで検索しても場所がわからず迷ってしまう方が多い。主要道路に看板は掲げているが不十分。	看板を見やすい所に設置することを検討し、今後も施錠することなく来所しやすい雰囲気をつくっていく。
C. 事業所と地域のかかわり			イベントの際は地域の方をお誘いするよう心掛けているが、立ち寄る用事がないと事業所には入りにくい。	開かれた施設を目指し、行事やイベント活動を企画し、地域と共に参加できるよう、今後も取り組んでいきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			認知症家族の会「えんがわ」に毎月参加しているがその会の存在や行っている内容を知らない方が多い。	地域活動に参加はしているが、協力は行なえていない状況である。利用者と一緒にできる事を検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			毎回参加する利用者や家族が変更になり運営推進会議での取り組みを理解できていない。	地域の中での会議や集まりに積極的に参加し、事業所の活動内容を広報誌等で伝えていく。
F. 事業所の防災・災害対策			避難訓練は消防署の立ち会いのもと行っていたが、実施内容を運営推進会議で案内したことがなかった。	年2回の避難訓練だけでなく、緊急時の訓練も年2回行うよう計画を立て、運営推進会議でも防災計画を案内していく。